

(11) じょく創の処置

じょく創の処置は、654,348名(2.93%)で行われていた。

表 I-94 じょく創の処置

	度数	パーセント
ない	21702409	97.07
ある	654348	2.93
合計	22356757	100.00

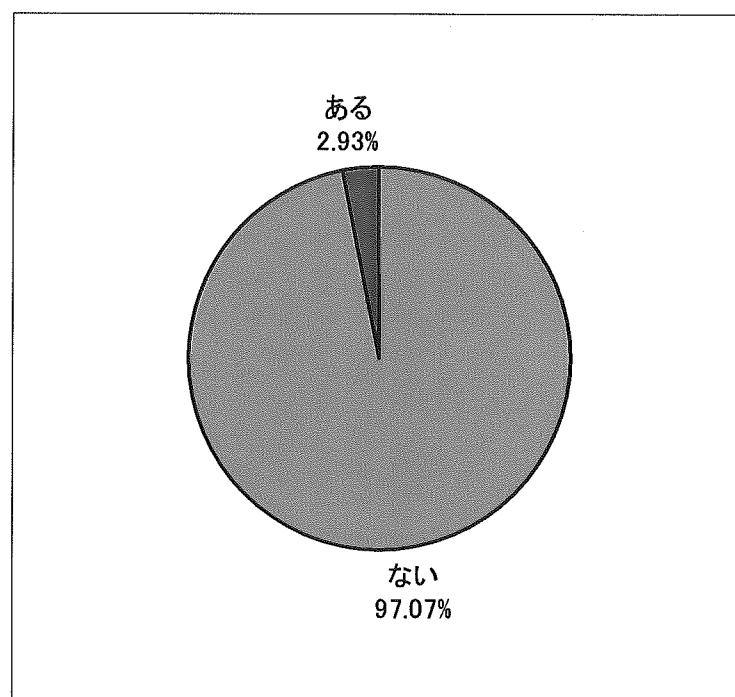


図 I-92 じょく創の処置

(12) カテーテル

カテーテルは、719,583名(3.22%)で実施されていた。

表 I-95 カテーテル

	度数	パーセント
ない	21637174	96.78
ある	719583	3.22
合計	22356757	100.00

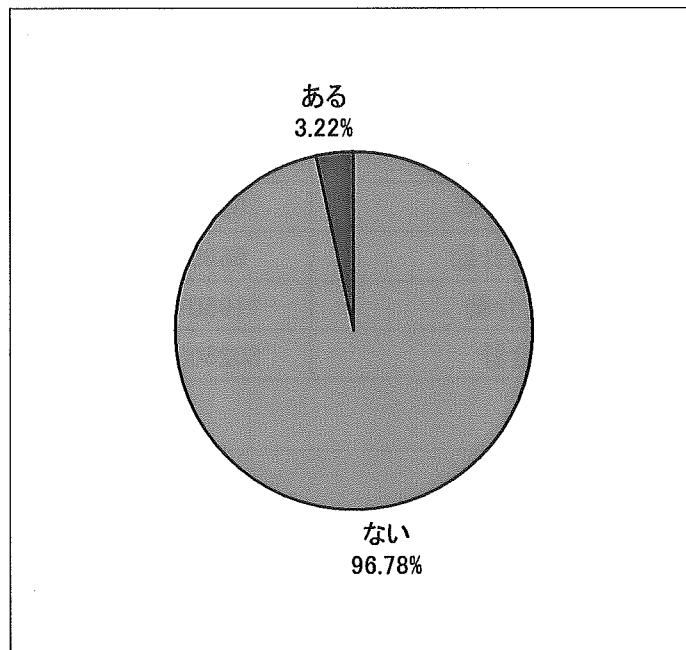


図 I-93 カテーテル

## 第5章 認定調査項目の非共通項目による要介護高齢者の状態像の把握

### 1. 要介護認定ロジック改訂後の新項目による状態の把握

要介護認定のロジックの変更と同時に実施された認定項目の変更により、移動、引水、電話の利用、日常の意思決定が追加された。これらの項目については、2004年度までに6,025,004名のデータが収集されている。

#### (1) 移動

移動は、「自立」が3,081,418名(51.14%)で全体の半数程度を占めていた。次いで全介助が19.83%、見守り等が17.93%とそれぞれ全体の2割程度を占めていた。

表 I-96 移動

	度数	パーセント
自立	3081418	51.14
見守り等	1080207	17.93
一部介助	668362	11.09
全介助	1195017	19.83
合計	6025004	100.00

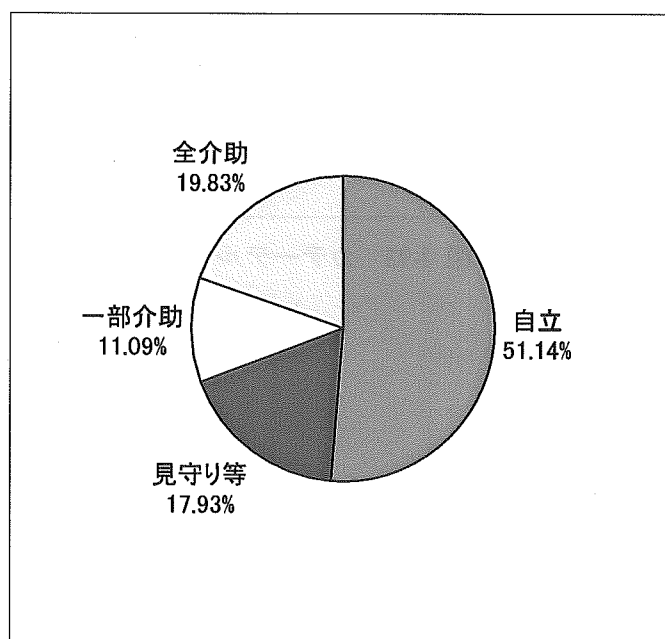


図 I-94 移動

(2) 飲水

飲水は、「自立」が3,557,999名(59.05%)で全体の6割程度を占めていた。次いで「見守り等」が必要1,374,076名(22.81%)と続いていた。

表 I-97 飲水

	度数	パーセント
自立	3557999	59.05
見守り等	1374076	22.81
一部介助	602664	10.00
全介助	490265	8.14
合計	6025004	100.00

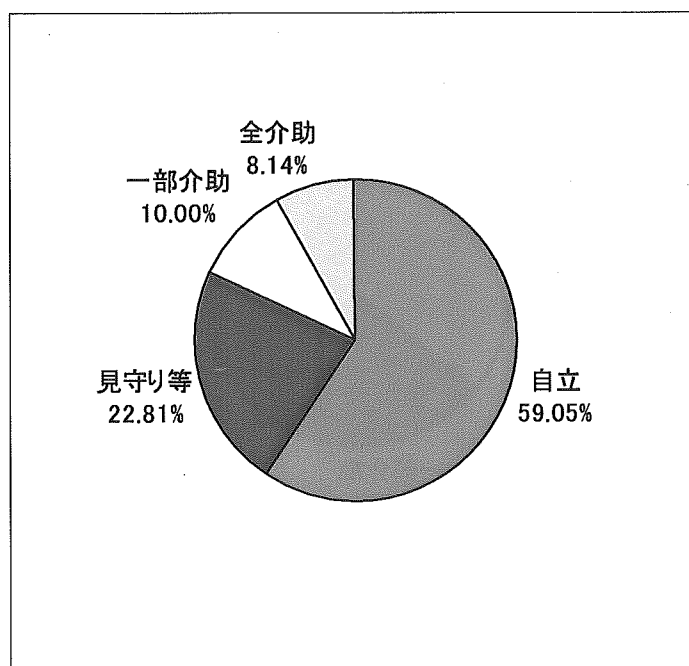


図 I-95 飲水

(3) 電話の利用

電話の利用は、「自立」が2,364,106名(39.24%)であった。次いで「全介助」が2,152,234名(35.72%)であった。

表 I-98 電話の利用

	度数	パーセント
自立	2364106	39.24
一部介助	1508664	25.04
全介助	2152234	35.72
合計	6025004	100.00

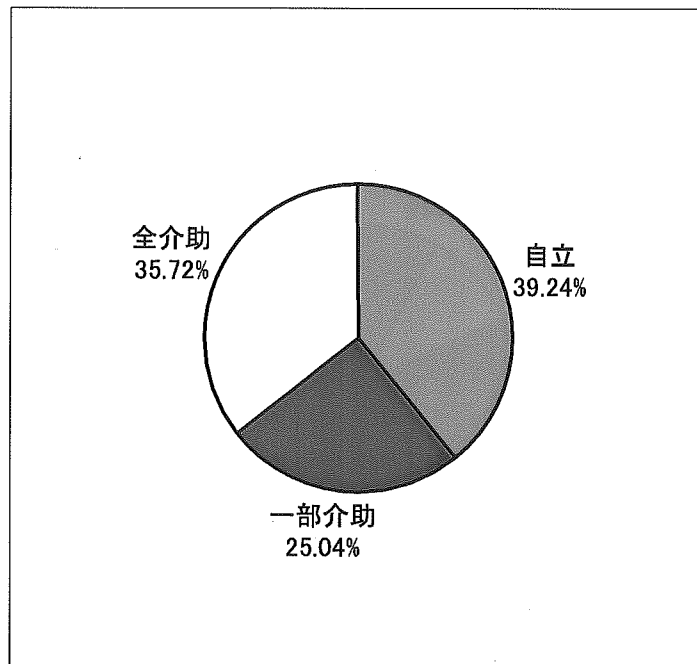


図 I-96 電話の利用

(4) 日常の意思決定

日常の意思決定は、「自立」が 2,798,233 名(46.445%)であった。次いで「特別な場合以外できる」が 25.89%と続いていた。

表 I-99 日常の意思決定

	度数	パーセント
できる	2798233	46.44
特別な場合以外できる	1559732	25.89
日常的に困難	1104620	18.33
できない	562419	9.33
合計	6025004	100.00

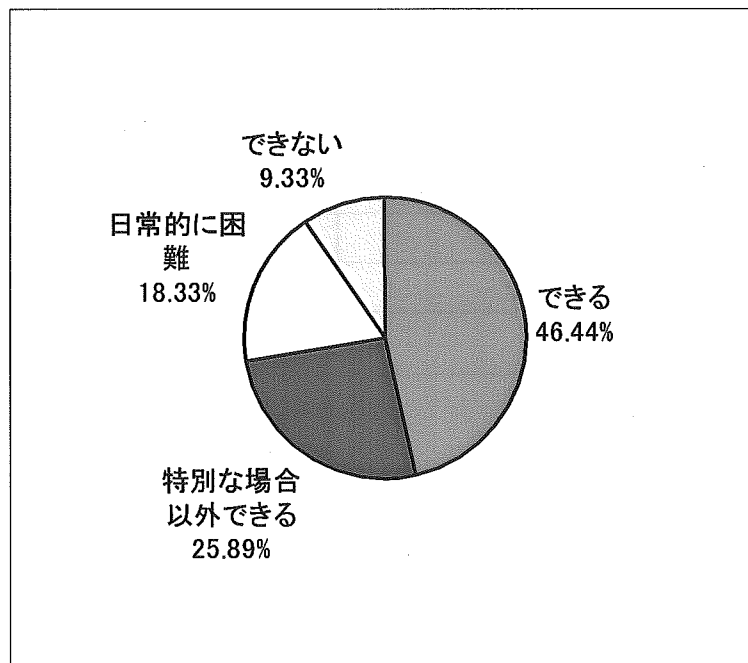


図 I-97 日常の意思決定

## 2. 要介護認定ロジック改訂前の旧項目による状態の把握

要介護認定のロジックの変更前にあった認定項目で、変更によりなくなった項目は、両足での座位、両足つかない座位、浴槽の出入り、片手胸元持ち上げ、尿意、便意、排尿後の後始末、排便後の後始末、ボタンのかけはずし、靴下の着脱、居室の掃除、周囲への無関心、性的迷惑行為の13項目である。これらの項目については、16,331,753名のデータが収集されている。

### (1) 両足での座位

両足での座位は、「できる」が8,799,869名(53.88%)で全体の半数程度を占めていた。次いで、「支えてもらえばできる」が21.44%、「自分の手で支えればできる」が19.86%で、それぞれ全体の2割程度で続いていた。

表 I-100 両足での座位

	度数	パーセント
できる	8799869	53.88
自分の手で支えればできる	3244201	19.86
支えてもらえばできる	3501428	21.44
できない	786255	4.81
合計	16331753	100.00

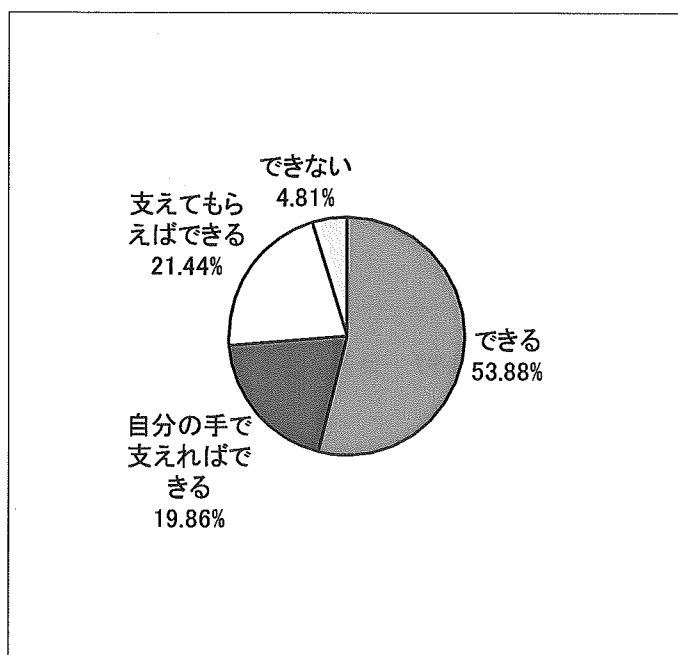


図 I-98 両足での座位

(2) 両足つかない座位

両足つかない座位は、「自分の手で支えればできる」が 5,783,220 名(35.41%)であった。次いで、「支えてもらえばできる」が 5,160,942 名(31.60%)、「できる」が 4,056,067 名(24.84%)と続いていた。

表 I-101 両足つかない座位

	度数	パーセント
できる	4056067	24.84
自分の手で支えればできる	5783220	35.41
支えてもらえばできる	5160942	31.60
できない	1331524	8.15
合計	16331753	100.00

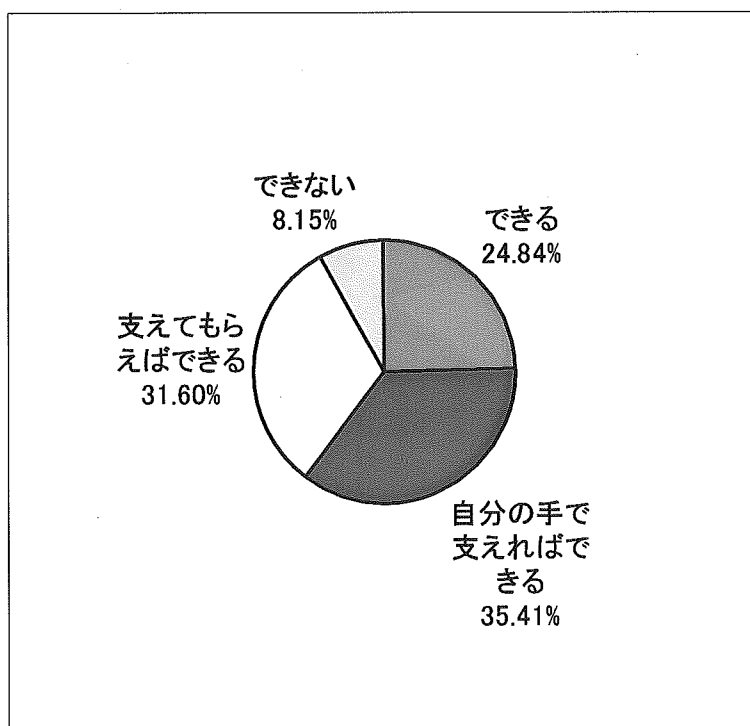


図 I-99 両足つかない座位



(3) 浴槽の出入り

浴槽の出入りについては、「一部介助」が 5,774,310 名(35.36%)で最も割合が高かった。次いで、「自立」が 4,794,359 名(29.36%)であった。

表 I-102 浴槽の出入り

	度数	パーセント
自立	4794359	29.36
一部介助	5774310	35.36
全介助	2315784	14.18
行っていない	3447300	21.11
合計	16331753	100.00

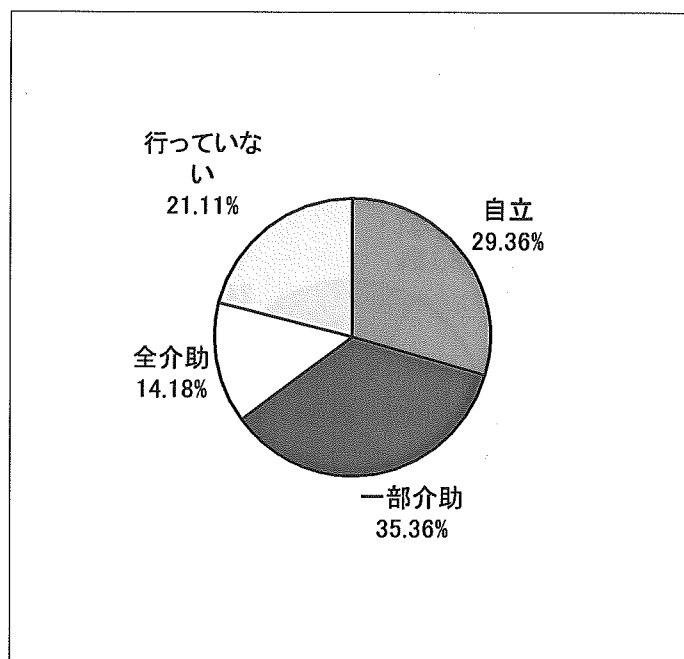


図 I-100 浴槽の出入り

(4) 片手胸元持ち上げ

片手胸元持ち上げは、「できる」が 15,724,990 名(96.28%)で全体の 9 割以上を占めていた。

表 I-103 片手胸元持ち上げ

	度数	パーセント
できる	15724990	96.28
介助があればできる	295523	1.81
できない	311240	1.91
合計	16331753	100.00

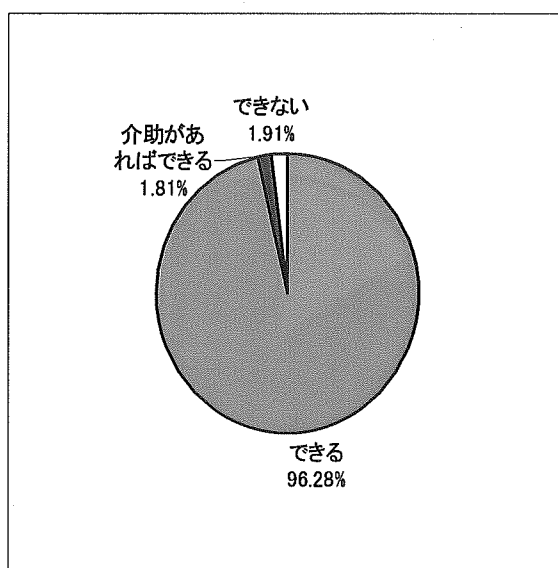


図 I-101 片手胸元持ち上げ

(5) 尿意

尿意は、「ある」が11,874,894名(72.71%)で全体の7割以上を占めていた。

表 I-104 尿意

	度数	パーセント
ある	11874894	72.71
ときどきある	1835250	11.24
ない	2621609	16.05
合計	16331753	100.00

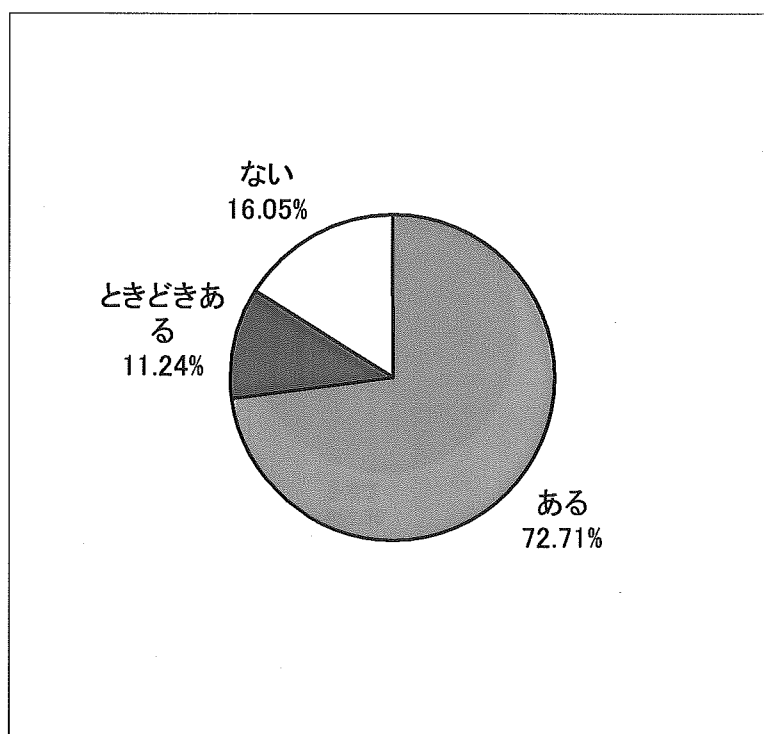


図 I-102 尿意

(6) 便意

便意は、「ある」が12,307,387名(75.36%)で全体の7割以上を占めていた。尿意と便意では、便意のほうが尿意の「ある」の72.71%よりも高い割合を示していた。

表 I-105 便意

	度数	パーセント
ある	12307387	75.36
ときどきある	1249817	7.65
ない	2774549	16.99
合計	16331753	100.00

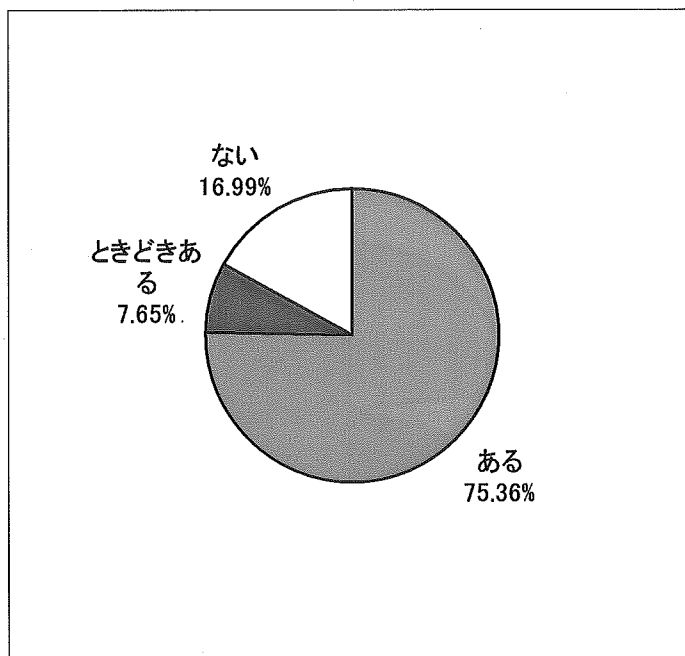


図 I-103 便意

(7) 排尿後の後始末

排尿後の後始末は、「自立」が 7,730,784 名(47.34%)で全体の 5 割程度を占めていた。次いで、「間接的援助」が 3,818,626 名(23.38%)と続いていた。

表 I-106 排尿後の後始末

	度数	パーセント
自立	7730784	47.34
間接的援助	3818626	23.38
直接的援助	983409	6.02
全介助	3798934	23.26
合計	16331753	100.00

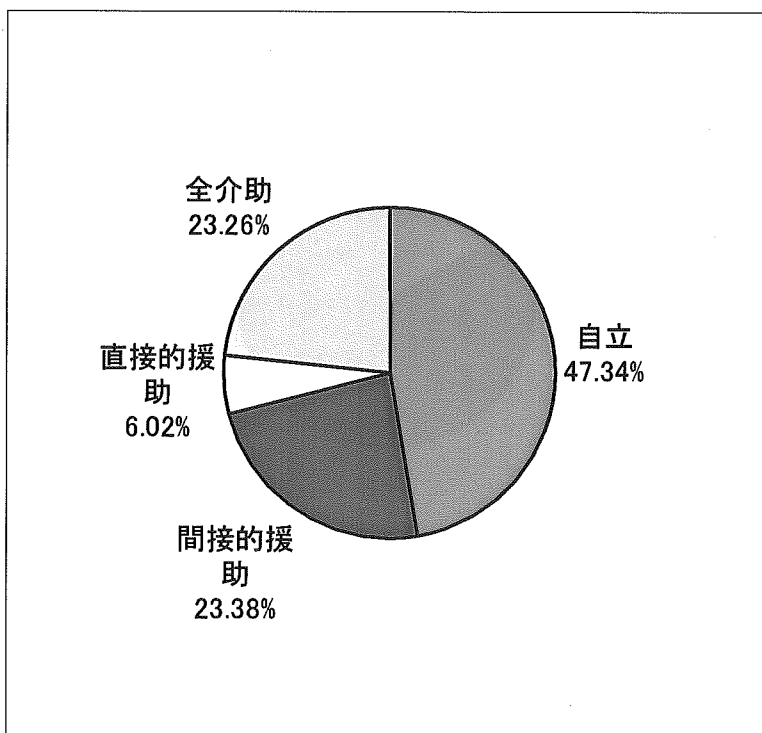


図 I-104 排尿後の後始末

(8) 排便後の後始末

排便後の後始末は、「自立」が 8,348,042 名(51.12%)で全体の半数程度を占めていた。次いで全介助 3,905,641 名(23.91%)と続いていた。排尿後の後始末に比較すると間接的援助の割合よりも全介助の割合が高かった。

表 I-107 排便後の後始末

	度数	パーセント
自立	8348042	51.12
間接的援助	2640619	16.17
直接的援助	1437451	8.80
全介助	3905641	23.91
合計	16331753	100.00

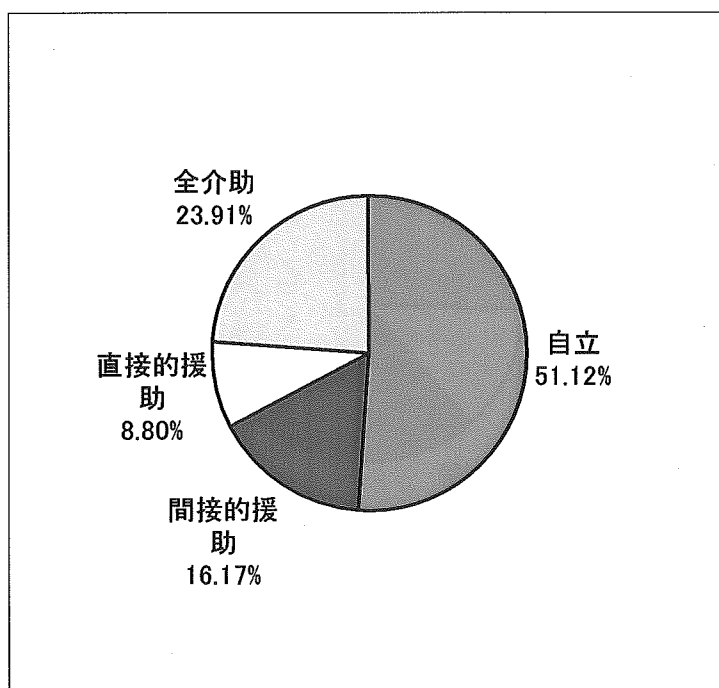


図 I-105 排便後の後始末

(9) ボタンのかけはずし

ボタンのかけはずしは、「自立」が 8,407,792 名(51.48%)で全体の半数程度を占めていた。次いで「全介助」が 4,187,415 名(25.64%)と示されていた。

表 I-108 ボタンのかけはずし

	度数	パーセント
自立	8407792	51.48
見守り等	1611168	9.87
一部介助	2125378	13.01
全介助	4187415	25.64
合計	16331753	100.00

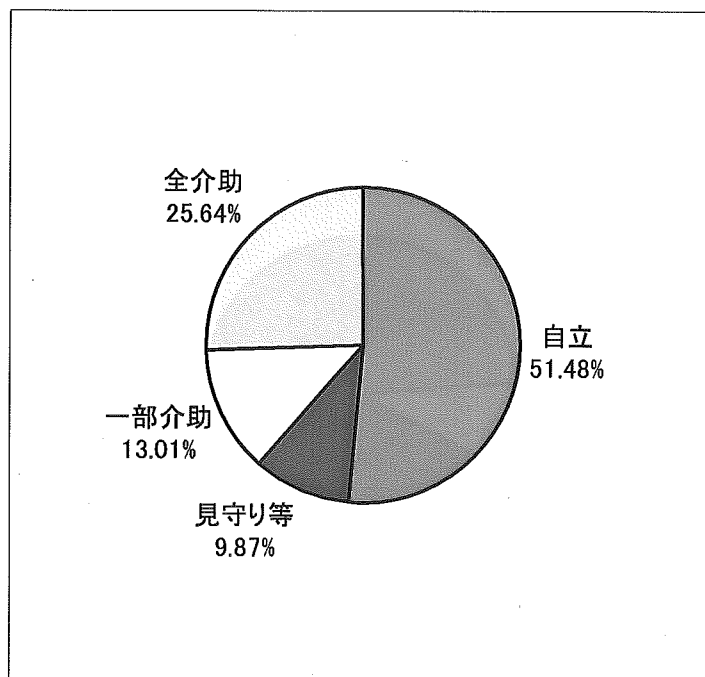


図 I-106 ボタンのかけはずし

(10) 靴下の着脱

靴下の着脱は、「自立」が 8,177,610 名(50.07%)で全体の半数程度を占めていた。次いで全介助が 5,144,918 名(31.50%)であった。

表 I-109 靴下の着脱

	度数	パーセント
自立	8177610	50.07
見守り等	1338810	8.20
一部介助	1670415	10.23
全介助	5144918	31.50
合計	16331753	100.00

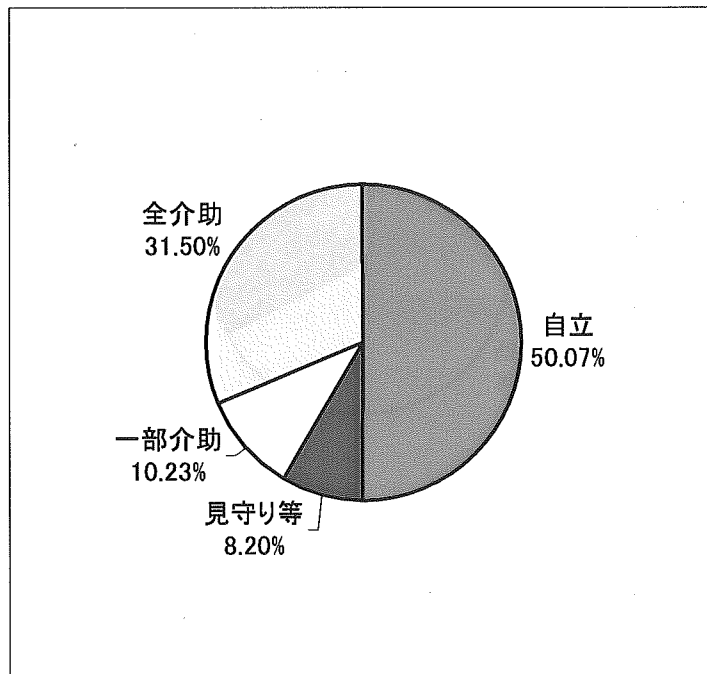


図 I-107 靴下の着脱



(11) 居室の掃除

居室の掃除は、「全介助」が 11,016,974 名(67.46%)で全体の 7 割近くを占めていた。次いで、一部介助が 3,968,703 名(24.30%)であった。自立の割合は、8.24%とかなり低かった。

表 I-110 居室の掃除

	度数	パーセント
自立	1346076	8.24
一部介助	3968703	24.30
全介助	11016974	67.46
合計	16331753	100.00

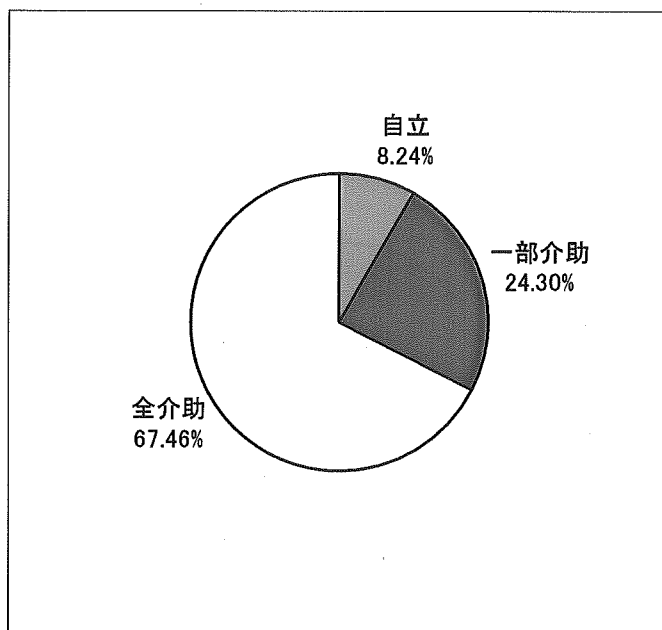


図 I-108 居室の掃除

(12) 周囲への無関心

周囲への無関心が「ある」と回答されたのは、1,832,102名(11.22%)であった。

表 I-111 周囲への無関心

	度数	パーセント
ない	13097227	80.19
ときどきある	1402424	8.59
ある	1832102	11.22
合計	16331753	100.00

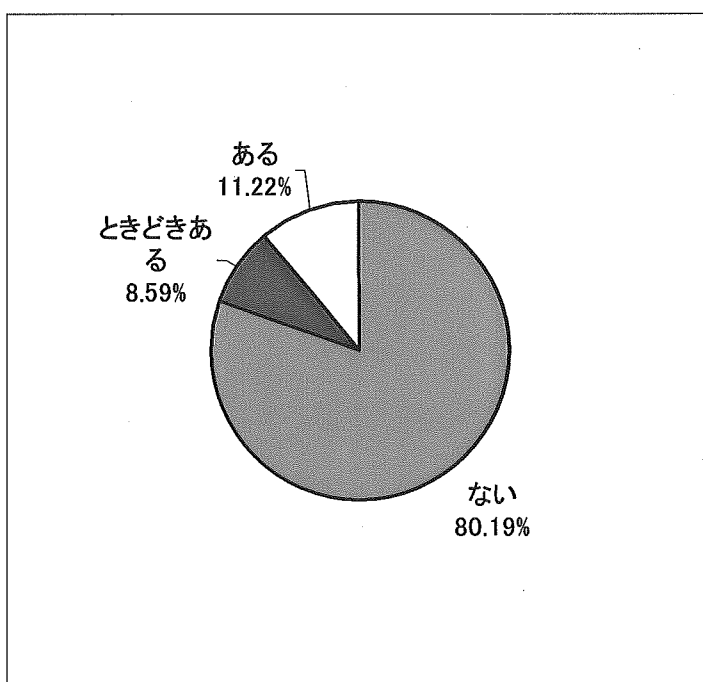


図 I-109 周囲への無関心

(13) 性的迷惑行為

性的迷惑行為があったのは、72,435名（0.44%）であった。

表 I-112 性的迷惑行為

	度数	パーセント
ない	16206639	99.23
ときどきある	52679	0.32
ある	72435	0.44
合計	16331753	100.00

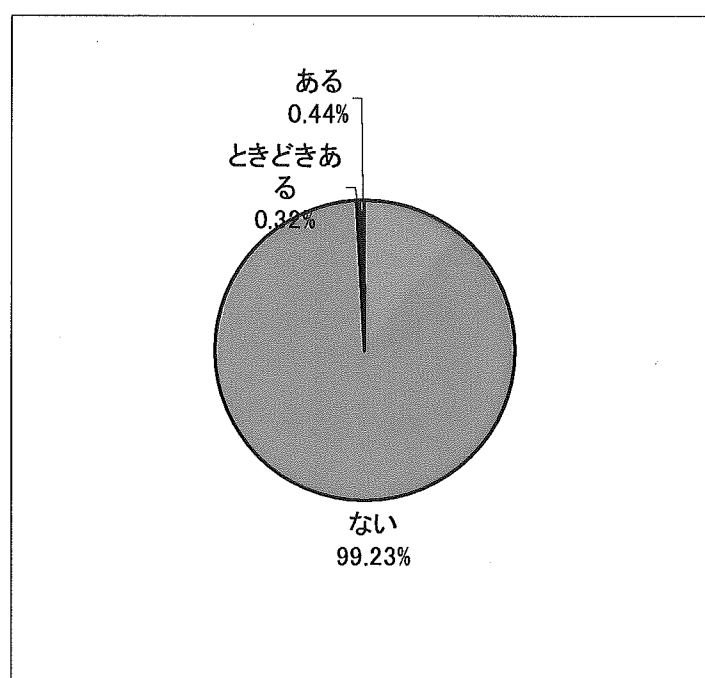


図 I-110 性的迷惑行為

## 第6章 要介護認定基準時間及び中間評価項目得点の経年的変化

### 1. わが国の要介護高齢者における要介護認定基準時間及び中間評価項目得点

要介護認定を受けた全国の要介護高齢者 22,355,258 名の要介護認定基準時間の平均時間は、60.32 分であった。これは、表に示したように要介護 2 に含まれる。

ただし、介護保険制度における要介護度は、要介護認定情報から要介護認定等基準時間を推計して行われる一次判定と、一次判定の結果を原案として、訪問調査員からの特記事項や主治医の意見書から実際の介護の必要性を勘案して行われる二次判定を経て決定されることから、示された 60.32 分という情報で要介護 2 を認定されるわけではない。

しかし、2,200 万人の要介護高齢者の平均要介護認定基準時間が 60.32 分で標準偏差が 32.61 であることは、わが国の要介護高齢者は、要介護 2 から 3 が主となる正規性のある分布といえよう。

また、中間評価項目得点は要介護高齢者の状態を総合的に示す指標として有用であるが、全体的にみれば、わが国の要介護高齢者は問題行動がある高齢者は少ないため、第 7 群の得点がかなり高かったと考えられる。

むしろ、わが国の高齢者は複雑な動作関連の得点 43.95 点、さらには身の回りの世話等関連の得点が 58.12 点と低かった。複雑な動作とは、表 I-115 に示したように、立ち上がり、片足での立位、浴槽の出入り、洗身自立、ADL や、高次の運動機能を有する動作を構成した群である。この群の得点が低いことはわが国の要介護高齢者の特徴であった。

表 I-113 (一次判定の基準) 区分基準時間

要支援	要介護認定基準時間が 1 日当たり 25 分以上 32 分未満である状態又はこれに相当すると認められる状態
要介護 1	要介護認定基準時間が 1 日当たり 32 分以上 50 分未満である状態
要介護 2	要介護認定基準時間が 1 日当たり 50 分以上 70 分未満である状態
要介護 3	要介護認定基準時間が 1 日当たり 70 分以上 90 分未満である状態
要介護 4	要介護認定基準時間が 1 日当たり 90 分以上 110 分未満である状態
要介護 5	要介護認定基準時間が 1 日当たり 110 分以上である状態

(注) 要介護認定等基準時間は、認定のために推計された「ものさし」であり、実際に家庭で介護を受けている時間とは異なること

表 I-114 要介護高齢者における要介護認定基準時間及び中間評価項目得点

	平均値	標準偏差
要介護認定基準時間	60.32	32.61
中間評価第 1 群(麻痺、拘縮関連)	74.91	26.48
中間評価第 2 群(移動等関連)	63.34	31.89
中間評価第 3 群(複雑な動作関連)	43.95	28.88
中間評価第 4 群(特別な介護等関連)	79.82	25.49
中間評価第 5 群(身の回りの世話等関連)	58.12	33.38
中間評価第 6 群(コミュニケーション等関連)	80.36	24.93
中間評価第 7 群(問題行動関連)	93.04	11.61